

2024 年 5 月 30 日作成 Ver.1.3

《情報公開文書》

前立腺癌における DKK-3 の病理学的意義の解明と予後予測因子としての
有用性の検討

研究の概要

【背景】

前立腺癌は現在、男性部位別がん罹患数 1 位となっています。限局性前立腺癌の 5 年生存率は 99%であるのに対し、転移性前立腺癌の 5 年生存率は 65%と大きく下がるため、適切な診断や治療が必要です。また、転移性前立腺癌は一般的にホルモン治療を行います。治療抵抗性となれば去勢抵抗性前立腺癌となり予後不良であるため、さらなる適切な治療を行うことが課題と言われています。また、近年様々な悪性腫瘍において Dickkopf-3 (DKK-3)と呼ばれるタンパク質が癌細胞の増殖を抑制する働きがあると注目されています。前立腺癌においても同様に注目されていますが、その詳細なメカニズムは明らかになっていません。

【目的】

本研究では、DKK-3 の前立腺癌における病理学的意義を、細胞による実験や前立腺の癌患者さんの臨床情報や手術検体を用いて解析することを目的とします。

【意義】

DKK-3 を解析することにより、新しい治療法を確立することができ、さらに患者さんの治療後の経過や治療介入のタイミングを適切に評価することができるようになります。

【方法】

前立腺全摘術時の摘出標本より精液の一部を採取し、DKK-3 タンパクの解析を行います。同じく摘出標本の免疫染色を行い、DKK-3 の発現を調査します。これらの検査結果を解析して、DKK-3 の発現と標本悪性度との関連を調べます。

対象となる患者さん

2014 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までに当科で前立腺癌に対して前立腺全摘術を受けた患者さんと、これから前立腺全摘術を受ける患者さんです。

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景(年齢、性別、身長、体重、BMI)
- ・既往歴、生活歴、家族歴
- ・血液学検査(白血球数、白血球分画、赤血球数、血小板数)
- ・生化学検査(Ca、P、Na、CRE、BUN、AST、ALT、ALP、LDH、CPK、CRP、Alb、腫

瘍マーカー(PSA,NSE,pro-GRP,CA19-9)) ・尿検査(尿比重、白血球数、赤血球数、蛋白、糖、円柱、結晶)、尿細胞診 ・画像検査(エコー(局所病変、針生検)、CT(リンパ節、多臓器転移の有無、場所、腹囲、内臓脂肪面積、内臓脂肪体積)、MRI(局所病変、周囲浸潤の有無)、骨シンチ、PET-CT(遠隔転移の有無、場所)) ・病理学的検査(組織学的分類、Gleason スコア、周囲浸潤、リンパ節転移、断端の評価) ・手術情報(手術日、術式、手術時間、出血量、神経温存の有無、骨盤リンパ節郭清の有無) ・治療経過 ●研究に用いる試料 ・前立腺全摘標本の一部を用いて免疫染色を行い、DKK-3 発現の有無を調べます。 ・前立腺全摘標本より精漿を採取し、精漿中の DKK-3 タンパク量を測定します。 本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
試料・情報の利用開始予定日	
本研究は 2024 年 6 月 6 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。	
あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2032 年 3 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科 氏名：今村 亮一 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7340
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科 福島 始
〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号
電話：095（819）7340 FAX 095（819）7343

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200
受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）